
業績ハイライト

－ 2021年3月期決算について －



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 2022年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	2021年3月期			2020年3月期
		前年同期比	増減率	
連結経常収益	44,089	1,735	4.0	42,354
経常利益	△ 2,275	△ 4,847	-	2,571
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 3,176	△ 4,910	-	1,733

- じもとホールディングスの連結経常収益は440億89百万円となりました。
- 経常利益は、きらやか銀行において、有価証券ポートフォリオの見直しに伴い有価証券償還損等の損失を計上したことや、与信関係費用が増加したことから、前年同期比48億47百万円減少の△22億75百万円。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比49億10百万円減少の△31億76百万円となりました。

② 2行合算

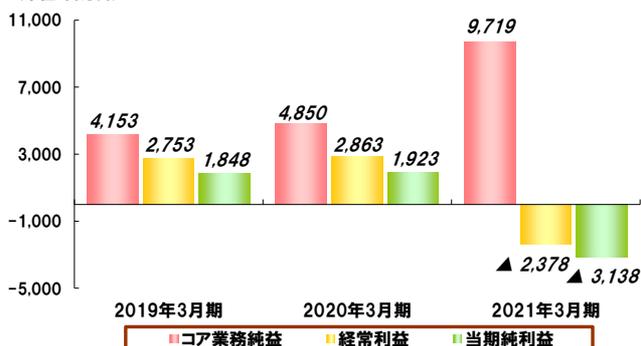
(単位:百万円、%)

	2021年3月期			2020年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	38,762	1,667	4.4	37,095
業務粗利益	25,230	△ 3,005	△ 10.6	28,236
資金利益	27,771	1,874	7.2	25,897
役務取引等利益	2,426	689	39.6	1,737
その他業務利益	△ 4,968	△ 5,569	-	601
うち国債等債券損益	△ 7,549	△ 7,021	-	△ 528
経費(除く臨時処理分)	23,060	△ 853	△ 3.5	23,914
うち人件費	11,531	△ 296	△ 2.5	11,827
うち物件費	9,627	△ 656	△ 6.3	10,283
実質業務純益(注1)	2,170	△ 2,151	△ 49.7	4,321
コア業務純益(注2)	9,719	4,869	100.3	4,850
除く投資信託解約損益	7,461	3,651	95.8	3,810
一般貸倒引当金繰入額	1,289	306	31.1	983
業務純益	880	△ 2,458	△ 73.6	3,338
臨時損益	△ 3,259	△ 2,783	-	△ 475
うち不良債権処理額	2,760	2,170	368.2	589
うち個別貸倒引当金繰入額	2,404	2,840	-	△ 436
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	△ 124	32	-	△ 156
経常利益	△ 2,378	△ 5,241	-	2,863
特別損益	△ 345	△ 2	-	△ 343
当期純利益	△ 3,138	△ 5,061	-	1,923
与信関係費用	4,001	2,467	160.7	1,534

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比16億67百万円増加の387億62百万円(増減率4.4%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息及び手数料収入が増加したほか、投資信託解約益の計上や住宅ローン債権の証券化を実施したことなどから、前年同期比48億69百万円増加の97億19百万円(増減率100.3%)となりました。
- 経常利益は、前年同期比52億41百万円減少の△23億78百万円、当期純利益は前年同期比50億61百万円減少の△31億38百万円となりました。

1. 損益の状況

③ きらやか銀行単体

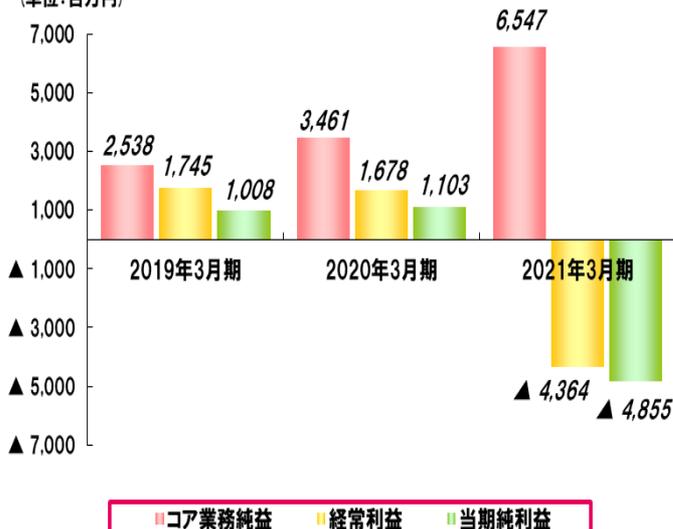
(単位:百万円、%)

	2021年3月期			2020年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	22,335	1,603	7.7	20,732
業務粗利益	12,083	△ 4,835	△ 28.5	16,919
資金利益	15,187	699	4.8	14,487
うち貸出金利息	12,312	△ 34	△ 0.2	12,346
うち有価証券利息配当金	3,010	732	32.1	2,278
役務取引等利益	1,584	204	14.8	1,379
その他業務利益	△ 4,687	△ 5,739	-	1,052
うち国債等債券損益	△ 7,194	△ 7,133	-	△ 60
経費(除く臨時処理分)	12,730	△ 787	△ 5.8	13,518
うち人件費	6,330	△ 245	△ 3.7	6,575
うち物件費	5,428	△ 552	△ 9.2	5,981
実質業務純益(注1)	△ 647	△ 4,048	-	3,400
コア業務純益(※注2)	6,547	3,085	89.1	3,461
(除く投資信託解約損益)	4,377	1,314	42.9	3,063
①一般貸倒引当金繰入額	827	533	181.9	293
業務純益	△ 1,474	△ 4,581	-	3,107
臨時損益	△ 2,889	△ 1,460	-	△ 1,428
②うち不良債権処理額	2,415	1,547	178.1	868
うち個別貸倒引当金繰入額	2,264	2,013	803.1	250
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	△ 132	348	-	△ 480
経常利益	△ 4,364	△ 6,042	-	1,678
特別損益	△ 335	△ 305	-	△ 30
当期純利益	△ 4,855	△ 5,959	-	1,103
与信関係費用	3,242	2,118	188.4	1,124

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 経常収益は、有価証券利息配当金等の資金利益が増加したことなどから、前年同期比16億3百万円増加の223億35百万円(増減率7.7%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、手数料収入増加や経費削減の他、投資信託解約益の計上、住宅ローン債権の証券化を実施したことなどから、前年同期比30億85百万円増加の65億47百万円(増減率89.1%)となりました。
- 有価証券ポートフォリオの見直しに伴い、債券償還損失等を計上したことなどから、国債等債券損益は前年同期比71億33百万円減少となりました。
- 与信関係費用は、コロナ禍の影響や一部取引先の業況不振に応じて引当金を計上したこと等から、前年同期比21億18百万円増加の32億42百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比60億42百万円減少の△43億64百万円、当期純利益は前年同期比59億59百万円減少し、△48億55百万円となりました。

1. 損益の状況

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

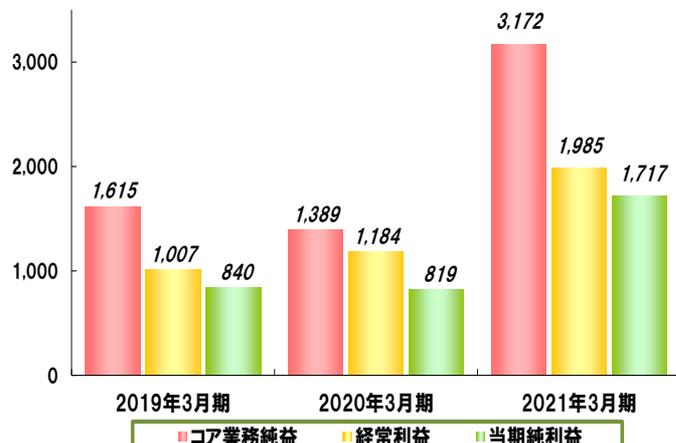
	2021年3月期			2020年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	16,426	64	0.3	16,362
業務粗利益	13,146	1,829	16.1	11,316
資金利益	12,584	1,174	10.2	11,409
うち貸出金利息	9,984	510	5.3	9,473
うち有価証券利息配当金	2,660	617	30.2	2,042
役務取引等利益	842	484	135.3	358
その他業務利益	△ 280	170	-	△ 451
うち国債等債券損益	△ 354	112	-	△ 467
経費(除く臨時処理分)	10,329	△ 66	△ 0.6	10,395
うち人件費	5,200	△ 51	△ 0.9	5,252
うち物件費	4,198	△ 103	△ 2.4	4,302
実質業務純益(注1)	2,817	1,896	205.7	921
コア業務純益(注2)	3,172	1,783	128.3	1,389
(除く投資信託解約損益)	3,083	2,337	312.8	746
①一般貸倒引当金繰入額	462	△ 227	△ 32.9	689
業務純益	2,355	2,123	916.9	231
臨時損益	△ 369	△ 1,322	-	952
②うち不良債権処理額	344	623	-	△ 279
うち個別貸倒引当金繰入額	139	826	-	△ 687
(貸倒償却引当費用①+②)	807	396	96.4	410
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	8	△ 315	△ 97.4	324
経常利益	1,985	800	67.6	1,184
特別損益	△ 10	302	-	△ 312
当期純利益	1,717	897	109.5	819

与信関係費用	758	348	84.8	410
--------	-----	-----	------	-----

(注1) 実質業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

(注2) コア業務純益=実質業務純益-国債等債券損益

(単位:百万円)



- 経常収益は、株式等売却益が減少したものの、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加により資金運用収益が増加したことなどから、前年同期比64百万円増加の164億26百万円(増減率0.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加による資金利益の増加に加え、役務取引等利益の増加などにより、前年同期比17億83百万円増加の31億72百万円(増減率128.3%)となりました。
- 与信関係費用は、個別貸倒引当金繰入額の増加などにより、前年同期比3億48百万円増加の7億58百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比8億円増加の19億85百万円、当期純利益は前年同期比8億97百万円増加の17億17百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移



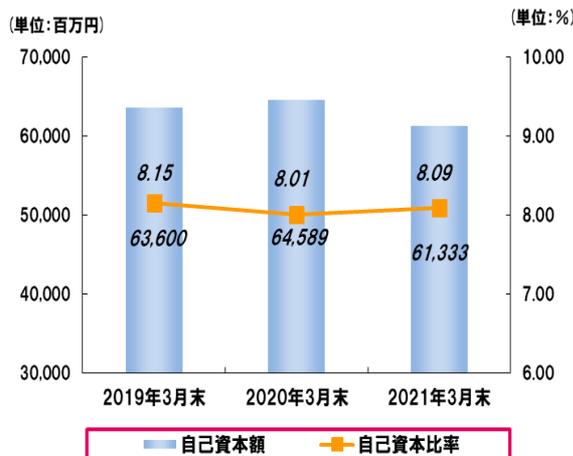
- じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.12%となりました。

(単位: %)

	2021年 3月末	2020年 3月末比	2020年 3月末
連結自己資本比率	8.12	0.05	8.07

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



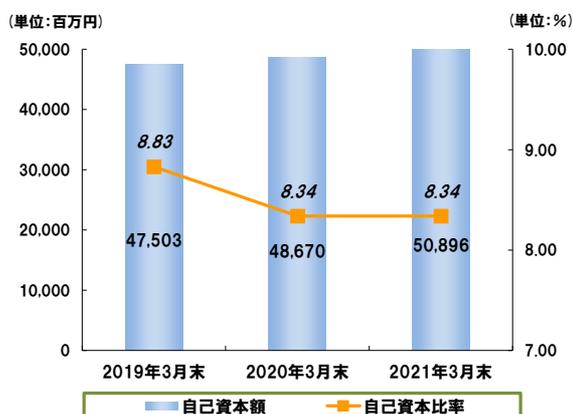
- 単体の自己資本比率は、じもとホールディングスとSBIホールディングスの資本業務提携に伴って30億円の資本調達を実施したことなどから、2020年3月末比0.08ポイント上昇の8.09%となりました。

(単位: %)

	2021年 3月末	2020年 3月末比	2020年 3月末
自己資本比率【単体】	8.09	0.08	8.01
自己資本比率【連結】	7.97	0.10	7.87

③ 仙台銀行

自己資本比率(単体)の推移



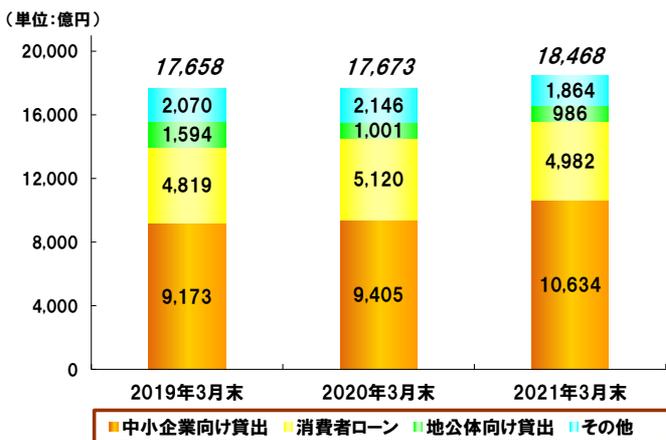
- 単体の自己資本比率は、当期純利益の計上及びじもとホールディングスとSBIホールディングスの資本業務提携に伴う5億円の増資により自己資本(分子)が増加した一方で、貸出金の増加等によりリスクアセット(分母)が増加したことから、2020年3月末と同水準の8.34%となりました。

(単位: %)

	2021年 3月末	2020年 3月末比	2020年 3月末
自己資本比率【単体】	8.34	0.00	8.34
自己資本比率【連結】	8.34	△ 0.01	8.35

3. 貸出金の状況

① 2行合算

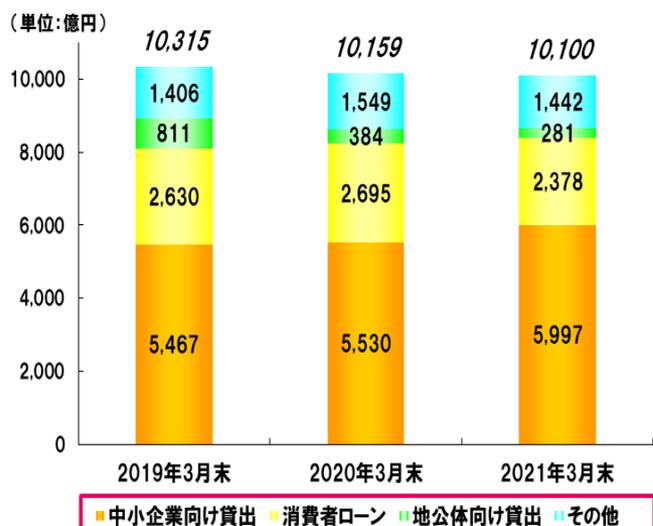


- 2行合算の貸出金残高は、2020年3月末比794億6百万円増加の1兆8,468億4百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
貸出金(末残)	1,846,804	79,406	4.4	1,767,398
うち中小企業向け貸出残高	1,063,478	122,914	13.0	940,563
うち消費者ローン	498,232	△ 13,832	△ 2.7	512,065
うち住宅ローン	456,393	△ 11,192	△ 2.3	467,585
うち地方公共団体向け貸出	98,625	△ 1,534	△ 1.5	100,159

② きらやか銀行



- 貸出金残高は、中小企業向け貸出が増加したものの、消費者ローンが減少したことなどから、2020年3月末比58億96百万円減少の1兆100億25百万円となりました。

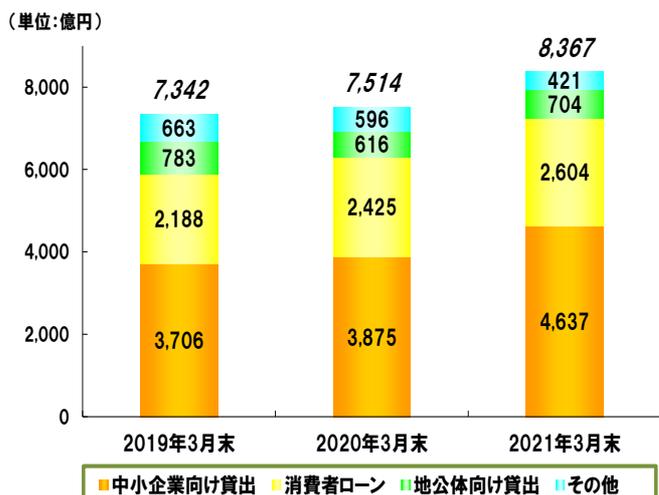
- 中小企業向け貸出は、本業支援や新型コロナウイルス関連の資金需要に積極的に対応したことなどから、2020年3月末比467億38百万円増加の5,997億43百万円となりました。

- 消費者ローンは、住宅ローン債権の証券化を実施したことなどから、2020年3月末比316億88百万円減少の2,378億23百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
貸出金(末残)	1,010,025	△ 5,896	△ 0.5	1,015,921
うち中小企業向け貸出残高	599,743	46,738	8.4	553,005
うち消費者ローン	237,823	△ 31,688	△ 11.7	269,511
うち住宅ローン	221,710	△ 30,385	△ 12.0	252,096
うち地方公共団体向け貸出	28,182	△ 10,298	△ 26.7	38,480

③ 仙台銀行



- 貸出金残高は、2020年3月末比853億2百万円増加の8,367億79百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

- 中小企業向け貸出は、新型コロナウイルス感染症関連の資金需要へ積極的に対応したことなどから、2020年3月末比761億76百万円増加の4,637億35百万円となりました。

- 消費者ローンは、住宅ローンの増加により、2020年3月末比178億55百万円増加の2,604億9百万円となりました。

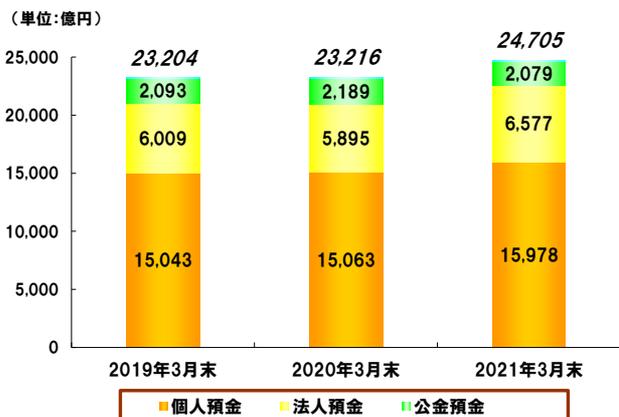
- 地方公共団体向け貸出は、2020年3月末比87億63百万円増加の704億43百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
貸出金(末残)	836,779	85,302	11.3	751,476
うち中小企業向け貸出残高	463,735	76,176	19.6	387,558
うち消費者ローン	260,409	17,855	7.3	242,554
うち住宅ローン	234,682	19,192	8.9	215,489
うち地方公共団体向け貸出	70,443	8,763	14.2	61,679

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算



- 2行合算の預金残高は、2020年3月末比1,488億95百万円増加の2兆4,705億25百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,470,525	148,895	6.4
うち個人預金	1,597,833	91,530	6.0	1,506,302
うち法人預金	657,723	68,125	11.5	589,598
うち公金預金	207,987	△ 10,924	△ 4.9	218,912

② きらやか銀行



- 預金残高は、新型コロナウイルス感染症に伴う特別定額給付金等によって2020年3月末比552億83百万円増加の1兆2,765億58百万円となりました。
- 個人預金は、2020年3月末比378億31百万円増加の8,832億95百万円となりました。
- 法人預金は、新型コロナウイルスの影響により手元資金を確保する動きが見られたことなどから、2020年3月末比187億84百万円増加の3,768億85百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,276,558	55,283	4.5
うち個人預金	883,295	37,831	4.4	845,464
うち法人預金	376,885	18,784	5.2	358,101
うち公金預金	12,591	△ 1,783	△ 12.4	14,374

③ 仙台銀行



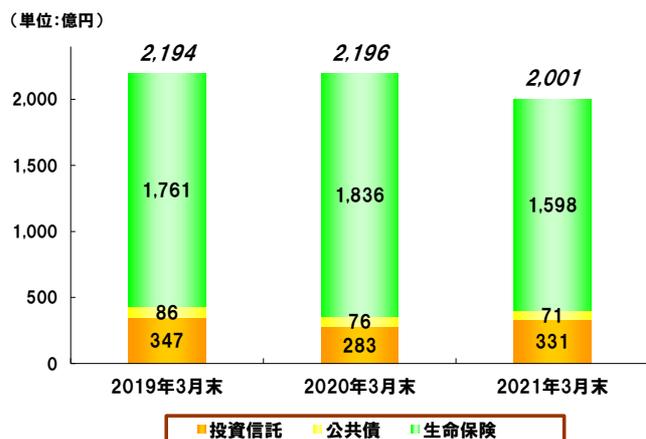
- 預金残高は、新型コロナウイルス感染症による特別定額給付金や融資金の歩留まり等により、2020年3月末比936億12百万円増加の1兆1,939億67百万円となりました。
- 個人預金は、2020年3月末比536億99百万円増加の7,145億37百万円となりました。
- 法人預金は、2020年3月末比493億41百万円増加の2,808億38百万円となりました。
- 公金預金は、2020年3月末比91億41百万円減少の1,953億96百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
	預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,193,967	93,612	8.5
うち個人預金	714,537	53,699	8.1	660,838
うち法人預金	280,838	49,341	21.3	231,497
うち公金預金	195,396	△ 9,141	△ 4.4	204,537

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

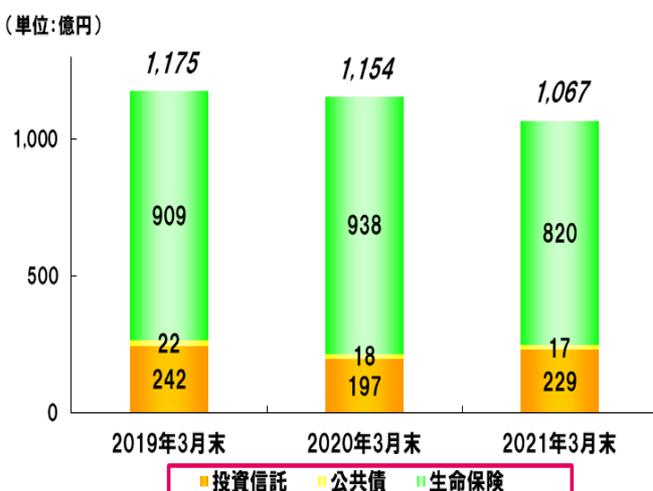


- 2行合算の預かり資産残高は、2020年3月末比194億39百万円減少の2,001億74百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
預かり資産(末残)	200,174	△ 19,439	△ 8.8	219,613
うち投資信託	33,194	4,836	17.0	28,358
うち公共債(国債等)	7,124	△ 529	△ 6.9	7,653
うち生命保険	159,854	△ 23,746	△ 12.9	183,601

② きらやか銀行

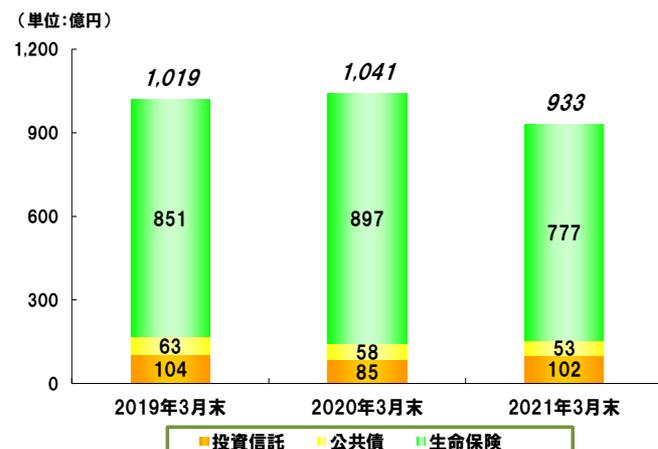


- 預かり資産残高は、2020年3月末比86億39百万円減少の1,067億82百万円となりました。
- 投資信託は、2020年3月末比31億37百万円増加の229億11百万円となりました。
- 公共債は、2020年3月末比45百万円減少の17億88百万円となりました。
- 生命保険は、2020年3月末比117億31百万円減少の820億83百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
預かり資産(末残)	106,782	△ 8,639	△ 7.4	115,422
うち投資信託	22,911	3,137	15.8	19,774
うち公共債(国債等)	1,788	△ 45	△ 2.4	1,833
うち生命保険	82,083	△ 11,731	△ 12.5	93,815

③ 仙台銀行



- 預かり資産残高は、2020年3月末比107億99百万円減少の933億91百万円となりました。
- 投資信託は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により2020年3月末比16億99百万円増加の102億83百万円となりました。
- 公共債は、2020年3月末比4億83百万円減少の53億36百万円となりました。
- 生命保険は、2020年3月末比120億14百万円減少の777億71百万円となりました。

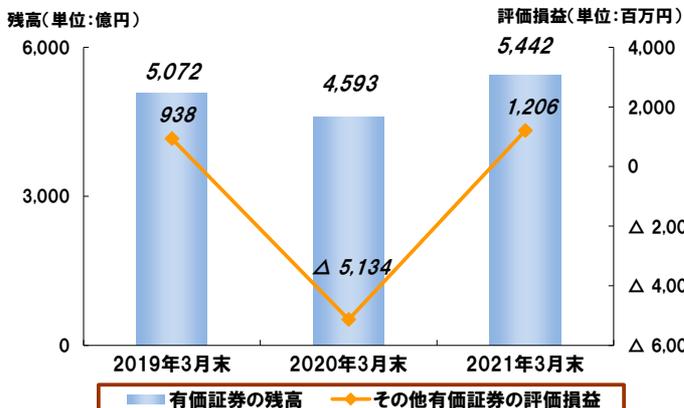
(単位:百万円、%)

	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
預かり資産(末残)	93,391	△ 10,799	△ 10.3	104,190
うち投資信託	10,283	1,699	19.7	8,584
うち公共債(国債等)	5,336	△ 483	△ 8.3	5,820
うち生命保険	77,771	△ 12,014	△ 13.3	89,786

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、2020年3月末比849億45百万円増加の5,442億52百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、SBIグループとの提携により2020年3月末比63億40百万円改善し、12億6百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

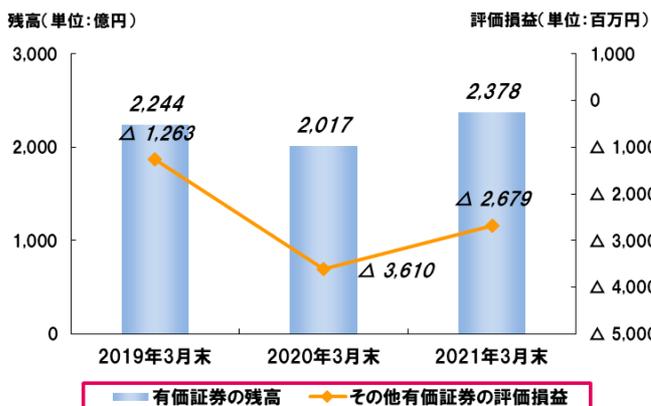
	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
有 価 証 券	544,252	84,945	18.4	459,307
国 債	17,953	△ 13,874	△ 43.5	31,828
地 方 債	44,665	4,808	12.0	39,857
社 債	76,755	△ 18,280	△ 19.2	95,036
株 式	8,236	△ 541	△ 6.1	8,778
そ の 他 証 券	396,640	112,833	39.7	283,806

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	2021年3月末	2020年3月末比	2020年3月末
そ の 他 有 価 証 券	1,206	6,340	△ 5,134
株 式	422	608	△ 185
債 券	△ 173	△ 271	97
そ の 他	957	6,003	△ 5,046

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、SBIグループとの提携のもと運用ポートフォリオの見直しを実施したことなどから、2020年3月末比360億59百万円増加の2,378億54百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、ポートフォリオ見直しに伴う損失を計上する一方、海外金利上昇等により26億79百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

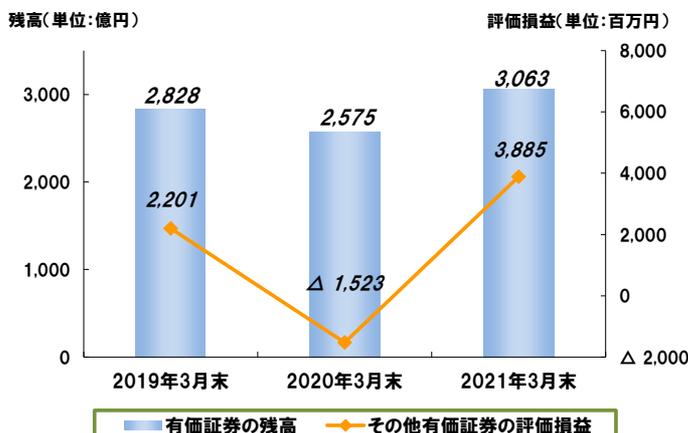
	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
有 価 証 券	237,854	36,059	17.8	201,794
国 債	14,428	△ 12,319	△ 46.0	26,748
地 方 債	8,330	198	2.4	8,132
社 債	43,297	△ 11,581	△ 21.1	54,878
株 式	6,469	△ 1,323	△ 16.9	7,792
そ の 他 証 券	165,329	61,086	58.5	104,243

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	2021年3月末	2020年3月末比	2020年3月末
そ の 他 有 価 証 券	△ 2,679	930	△ 3,610
株 式	212	359	△ 146
債 券	△ 138	△ 338	200
そ の 他	△ 2,754	909	△ 3,664

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向を踏まえ、SBIグループとの提携のもとポートフォリオの見直しを実施したことにより、2020年3月末比488億85百万円増加の3,063億97百万円となりました。
- 上記見直しの結果、その他有価証券の評価損益は、投資信託の評価益の増加を主因として2020年3月末比54億9百万円改善し、38億85百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

	2021年3月末	2020年3月末比	増減率	2020年3月末
有 価 証 券	306,397	48,885	18.9	257,512
国 債	3,525	△ 1,554	△ 30.5	5,080
地 方 債	36,335	4,610	14.5	31,725
社 債	33,458	△ 6,699	△ 16.6	40,158
株 式	1,767	782	79.3	985
そ の 他 証 券	231,310	51,746	28.8	179,563

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

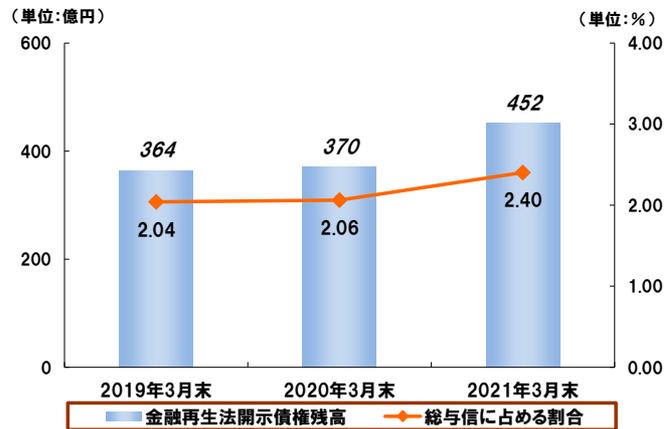
	2021年3月末	2020年3月末比	2020年3月末
そ の 他 有 価 証 券	3,885	5,409	△ 1,523
株 式	209	249	△ 39
債 券	△ 35	66	△ 102
そ の 他	3,711	5,093	△ 1,381

(注)その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2020年3月末比82億6百万円増加の452億37百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年3月末比0.34ポイント上昇の2.40%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

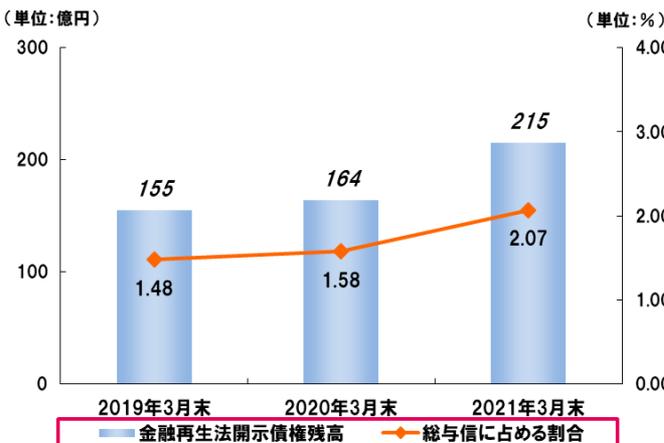
	2021年3月末	2020年3月末比	2020年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,919	△ 55	3,975
危険債権	35,374	7,886	27,488
要管理債権	5,942	375	5,567
合計 (A)	45,237	8,206	37,031
正常債権	1,834,574	76,838	1,757,736
総与信額 (B)	1,879,812	85,044	1,794,767
(A / B)	2.40	0.34	2.06

②金融再生法開示債権の保全状況(2021年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,919	3,919	2,427	1,492	100.00
危険債権	35,374	28,713	23,819	4,893	81.16
要管理債権	5,942	2,030	1,703	327	34.16
合計	45,237	34,663	27,950	6,713	76.62

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、取引先の業況悪化に伴う債務者区分の変更等から、2020年3月末比50億59百万円増加の215億41百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年3月末比0.49ポイント上昇し2.07%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

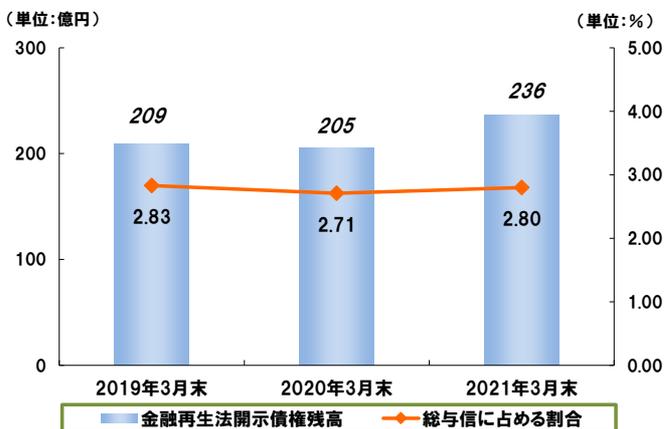
	2021年3月末	2020年3月末比	2020年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,911	693	2,218
危険債権	15,907	4,425	11,482
要管理債権	2,722	△ 58	2,781
合計 (A)	21,541	5,059	16,482
正常債権	1,014,435	△ 7,257	1,021,693
総与信額 (B)	1,035,977	△ 2,198	1,038,175
(A / B)	2.07	0.49	1.58

②金融再生法開示債権の保全状況(2021年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,911	2,911	1,559	1,352	100.00
危険債権	15,907	9,959	8,278	1,681	62.61
要管理債権	2,722	547	283	263	20.09
合計	21,541	13,418	10,121	3,296	62.29

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う取引先のランクダウン等により、2020年3月末比31億46百万円増加の236億95百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2020年3月末比0.09ポイント上昇の2.80%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

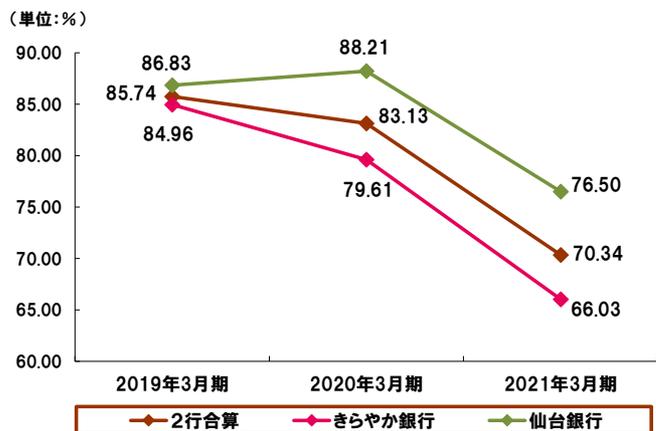
	2021年3月末	2020年3月末比	2020年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,008	△ 748	1,756
危険債権	19,467	3,461	16,006
要管理債権	3,219	433	2,786
合計 (A)	23,695	3,146	20,548
正常債権	820,139	84,096	736,042
総与信額 (B)	843,835	87,243	756,591
(A / B)	2.80	0.09	2.71

②金融再生法開示債権の保全状況(2021年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	保全率 (B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,008	1,008	868	139	100.00
危険債権	19,467	18,753	15,540	3,212	96.33
要管理債権	3,219	1,483	1,419	64	46.06
合計	23,695	21,244	17,828	3,416	89.65

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、2020年3月期比12.79ポイント改善し、70.34%となりました。



(単位:%)

		2021年3月期	2020年3月期比	2020年3月期
コアOHR	2行合算	70.34	△ 12.79	83.13
	きらやか銀行	66.03	△ 13.58	79.61
	仙台銀行	76.50	△ 11.71	88.21

9. 2022年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの2022年3月期の連結業績予想は、経常利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益31億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2021年3月期の期末配当金は、1株あたり10円を予定しております。また、2022年3月期の年間配当金は、1株あたり20円を予定しております。

(単位:百万円)

	2022年3月期	中間期	(参考) 2021年3月期 実績
経常利益	3,700	1,400	△ 2,275
親会社株主に帰属する当期純利益	3,100	1,200	△ 3,176

基準日	中間	期末	年間
2022年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
(参考)2021年3月期	1円50銭	-	-
	-	10円00銭	-

※当社は、2020年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。また、2021年3月期の1株あたりの年間配当合計につきましては、単純合算ができないため、「-」と表示しております。

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益15億円、当期純利益15億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益20億円、当期純利益15億円を見込んでおります。

きらやか銀行

仙台銀行

(単位:百万円)

	2022年3月期	中間期	(参考) 2021年3月期 実績
経常利益	1,500	500	△ 4,364
当期純利益	1,500	500	△ 4,855

(単位:百万円)

	2022年3月期	中間期	(参考) 2021年3月期 実績
経常利益	2,000	800	1,985
当期純利益	1,500	600	1,717